

## 2018 年度第 3 四半期決算説明会における主要な質疑応答

質問	回答
<p>Q1 : 現在の車両事業再建委員会の検討状況を教えてください。</p>	<p>A1 : 車両事業再建委員会では 2018 年 10 月の発足以降、大型案件の進捗の確認やプロジェクト管理体制の見直しを行っています。不採算案件のどこに問題があったのか、どこを補強すべきかを検討し、漸く方針が見えてきました。車両事業の在り方についても引き続き検討を進めていきます。</p>
<p>Q2 : 米国ロングアイランド鉄道のオプション契約分の受注及び受注工事損失引当金は全額 2019 年 2 月に計上されますか。</p>	<p>A2 : 2019 年 2 月に予定している受注と同時に受注工事損失引当金を全額計上するため、2019 年度に繰り越されるものではありません。</p>
<p>Q3 : 精密機械・ロボット事業の通期見通しを引き下げた理由および通期見通しの達成確度を教えてください。</p>	<p>A3 : 2018 年度下期以降、米中貿易摩擦の影響が顕著になってきていること、半導体製造装置向けロボットが低調であることから、ロボット事業の通期見通しを引き下げました。 油圧は生産能力増強の効果が徐々に現れ、順調に推移しているため、精密機械・ロボット事業全体で見れば、十分通期見通しを達成できると考えています。</p>
<p>Q4 : 米国における鋼材価格上昇や新興国通貨安の影響を鑑みると、MC&amp;E 事業の通期見通しは達成が難しいのではないのでしょうか。</p>	<p>A4 : 2018 年度の売れ行きは好調で、各主要市場でシェアを伸ばしています。2019 年度のニューモデルの評判も良く、足元の売れ行きを踏まえれば、達成できると考えています。</p>
<p>Q5 : 海外 LNG タンク案件の賠償請求額は 2Q 時点では 480 億円だったが、3Q では 460 億円になっています。進捗に何か変化があったのでしょうか。</p>	<p>A5 : 為替レートを変更したため、金額が変動しました。</p>

以上